

報道各位

FAX送信枚数 3枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。
 報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】
 第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦
 実行委員長 石野 雄三
 TEL・FAX 梶野ホッケー場 親里ホッケー場
 携帯 080-6734-8842 TEL/FAX:075-721-1135 TEL/FAX:0743-67-0247

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 2 日

開催日時 7 月 1 日 (金) 会場 親里ホッケー場 天候 雨→曇り

【試合結果】

<女子>

第1試合	山梨学院大学	8	$\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	東京農業大学
10:00					
第2試合	東海学院大学	9	$\begin{pmatrix} 4 & - & 1 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	聖泉大学
11:40					
<男子>					
第3試合	立命館大学	3	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	明治大学
13:20					
第4試合	天理大学	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	法政大学
15:00					

【試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院大学 8 $\left(\begin{array}{cc} 4 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \end{array} \right)$ 0 東京農業大学

得点	山梨学院→7分田中、16分高田、25分山田、31分中畝地、41分田中、44分山田、50分田中、58分伴田		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第2日 山梨学院大学 対 東京農業大学 の試合。昨日の猛暑から一転し、じめっとした雨の中、東京農業大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から山梨学院大学が相手陣内に攻め込む時間が多い。山梨学院大学は5番永山の個人技でチャンスを作り、7分PCから10番田中が決めて先制する。その後、14分、25分、31分と立て続けに山梨学院大学がシュートを決め4-0で前半が終了した。後半、山梨学院大学のセンターパスで開始された。試合は山梨学院大学のペースで進む。東京農業大学は2番千葉を中心に何度かチャンスを作るが得点にはつながらず。山梨学院大学は41分にPCを取得し10番田中が決めた。その後、山梨学院大学は44分、50分、58分に得点し8-0となり、女子二回戦は山梨学院大学が勝利をおさめた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 大橋 守	アンパイア	樋口 修 下平 歩実

第2試合

東海学院大学 9 $\left(\begin{array}{cc} 4 & - & 1 \\ 5 & - & 0 \end{array} \right)$ 1 聖泉大学

	東海学院→4分永井 14分市山 18分坂井 24分日隈 39分河津 43分齊藤 46分石田 47分浅海 67分義浦 聖泉→12分松中		
戦評	第30回全日本大学王座決定戦第2日 東海学院大学 対 聖泉大学 の試合が行われた。昨日の猛暑から一変し、じめっとした雨の中、東海学院大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤は両者ともボールをゆっくり回していたが、東海が中盤でボールを奪い始め前半4分東海学院大学がこの試合初めてのPCをとる。これを東海学院26番永井が1-0とする。その後聖泉は12分にPCを得てこのチャンスを9番松中が決めて同点とする。しかし疲れが見えた聖泉に対し東海学院は強いパス回しとドリブルで14分に7番市山がFGを決め2-1。18分に2番坂井がフリックを決め3-1。24分には8番日隈がリバウンドを決め4-1とする。ここで前半を折り返す。そして後半はサークルに入る機会が多くなりPCをとる。39分はFG、41分46分とPCをきっちり決めて7-1とする。その後も東海学院大学は攻撃を緩めることなく47分、67分と追加点を決めて9-1とし東海学院が勝利を取めた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	清水 恭子 小西 典子	アンパイア	中元 大輔 谷川 昌子

第3試合

立命館大学 3 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 明治大学

得点	立命館大学→50分曾根原 52分伊藤 65分藤吉 明治大学→60分安部		
戦評	第30回全日本大学王座決定戦第3日 立命館大学 対 明治大学の試合が行われた。昨日の猛暑から一変し、ジメツとした雨の中、立命大学のセンターパスにより試合が行われた。立命館大学が攻める中、明治大学は4人以外下がり攻めを個人技でファールを取りながら攻める。立命館は人数をかけた攻撃をするがなかなか攻めることができない。このまま明治の作戦と運動量により前半は0-0と立命の攻撃を抑えた。後半は明治大学のセンターパスから始まった。立命館が攻める時間が多いが明治は47分カウンターからPCを獲得するが決めれない。立命館は50分にPCを獲得しこれを立命館6番曾根原が決めると、勢いが出る、すると52分にもPCを立命館5番伊藤がフリックを決め2-0となる。しかし明治の集中力はきれない。そして60分PCを得ると明治はこのチャンスを明治10番安部がものにし2-1と追い上げるが立命館が65分にPCを得て3-1と再び突き放す。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	清水 恭子 大橋 守	アンパイア	児玉 茂樹 長谷部 健二

第4試合

天理大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 法政大学

得点	天理→12分小澤、32分清水、47分甘利 法政→39分福島		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第2日 天理大学 対 法政大学の試合。昨日の猛暑から一転し、じめつとした雨の中、法政大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から天理大学が相手陣内に攻め込む時間が多い。しかし法政大学もカウンターで攻め込む場面も見られた。12分天理大学11番小澤が落ち着いて決め先制する。個人技の高さが目立つ天理大学だが法政大学のDF陣も粘り強く守備をする。32分天理大学13番がGKとの1対1を確実に決め2-0とリードを広げ前半が終了する。後半は天理大学のセンターパスで開始する。後半開始早々、天理大学はチャンスをつくるが得点にはいたらない。激しい攻防が繰り広げられる。39分法政大学8番福島がレフトサイドからの打ち込みにも上手く合わせ1点を返す。しかし、47分天理大学5番甘利がダメ押し3点目を決め3-1に。追いかける法政大学は何度か天理陣地に攻め込むが、連携の取れた天理DFに壁は越えられない。そのまま得点は動かず、天理大学が勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 小西 典子	アンパイア	近藤 聡史 中元 大輔

報道各位

FAX送信枚数3枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。
 報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】
 第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦
 実行委員長 石野 雄三
 TEL・FAX 梶野ホッケー場 親里ホッケー場
 携帯 080-6734-8842 TEL/FAX:075-721-1135 TEL/FAX:0743-67-0247

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 2 日

開催日時 7 月 1 日 (金) 会場 梶野ホッケー場 天候 くもり

【試合結果】

<女子>

第1試合		天理大学	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	富士大学
10:00						
		1○2○3○4○	4	[PS]	2	1○2○3×4×
第2試合		立命館大学	8	$\begin{pmatrix} 4 & - & 1 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	同志社大学
11:40						
		<男子>				
第3試合		朝日大学	5	$\begin{pmatrix} 3 & - & 2 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	2	東海学院大学
13:20						
第4試合		山梨学院大学	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	東京農業大学
15:00						

【試合の結果・詳細】

天理大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 富士大学
 10203040 4 $\begin{pmatrix} PS \end{pmatrix}$ 2 10203×4×

得点	天理大学→47分早戸 PS西田 西村 野村 勝山		
	富士大学→59分裴 PS裴 遠藤		
戦評	立ち上がりから天理大学がパスやドリブルを駆使した素早い展開で何度も富士大学のゴールに迫るものの点には繋がらない。富士大学は防戦一方の中なんとか攻撃につなげようとし前半24分に富士大学がカウンターからPCを奪いフリックシュートを放つが枠を外してしまう。次第に両者攻めつ守りつの均衡した試合運びとなり両者無得点のまま後半戦を迎えた。後半12分に天理大学の13番速戸選手がゴール前の混戦のなかボールを押し込みリードするが、24分に富士大学が右サイドから決り込んだパスを9番裴選手が決め再び同点となる。富士大学はその後攻め込まれるがサークル内で踏みこらえそのまま試合終了となった。PSでは天理大学のGKがシュートを2本防ぎ4対2で天理大学の勝利となった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 充世 平沢 美由紀	アンパイア	松島 孝治 中込 真里奈

立命館大学 8 $\begin{pmatrix} 4 & - & 1 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 同志社大学

得点	立命館大学→5分中村 12分中村 20分山内 26分中山 45分中村 47分中村 60分木原 70分		
	同志社大学→5分宮里		
戦評	試合開始直後に立命館の中村選手が得点するがすぐに同志社大学の宮里選手がゴール前のパス押し込み取り返す。12分に立命館大学がゴール前での細かいパス回しから点を決めてリードするとさらに20分に相手DFのクリアミスを押し込み、その後も一点を奪って差を広げる。同志社大学はその後何度もPCを取られるが体を張ったディフェンスで失点を防ぎ前半戦が終了した。後半も立命館大学が優位に試合を進め、8分に中村選手がPCからのヒットで得点し、12分にもサークル外からのボールをタッチでシュートしどんどん追加点を得る。結果8対1となり立命館が同志社を寄せ付けずに圧勝した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中村 康夫 松下 正寿	アンパイア	白鳥 学 木下 英貴

朝日大学 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 2 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 2 東海学院大学

得点	朝日大学→17分平光 32分森 33分森 53分横山 66分横山 東海学院大学→12分内田 28分鈴木		
戦評	両者ともに速い展開でゴール前まで切り込むが朝日大学が巧みなパスワークでピッチ中央を突破し何度もゴールに迫る。前半に東海学院大学が先制するがすぐに朝日大学が追いつく。その後接戦が続くも28分に東海学院大学がさらに1点を押し込み優位に立つ。1点を追う朝日大学はゴール前のファールで得たPSを惜しくも外すが、直後のPCで一点を奪いさらに33分に左サイドの挟り込みからのパスを滑り込みながら決めて逆転する。後半は両チームともゴールまであと一歩のところを決まらないという流れが続いたが、18分朝日大学の横山選手が見事なレバーヒットを決める。流れをつかんだ朝日大学は30分にPSをもらい落ち着いてこれを決め大差で勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 亮世 平沢 美由紀	アンパイア	山内 秀文 松島 孝治

山梨学院大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 東京農業大学

得点	山梨学院大学→50分草野 55分北里 東京農業→65分佐藤		
戦評	前半開始と共に激しいボールの奪い合いとサークル付近の競り合いが続くが、中々決定打が出ないまま膠着した状態が続く。前半終了間際に山梨学院大学がPCを奪うもDFに阻まれ両者無得点のまま後半戦となる。後半開始直後にまたも山梨学院のPCとなるが枠を外れてしまい両者一歩も譲らぬが続く。15分に山梨学院大学の草野選手がPCのこぼれ球を押し込み貴重な一点を手にし、20分にもPCからフリックシュートで得点し2対0と点差を広げる。試合終了5分前に東京農業大学がグリーンカードで人数の少ない相手の隙をついてPCで得点し差を詰めるものの一歩及ばず2対1で山梨学院大学が勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中村 康夫 松下 正寿	アンパイア	石橋 徹也 佐藤 幾久

尚、昨日の第4試合【富士大学 対 東京農業大学】の試合結果のスコア表記を誤って記載してしまいました件、大変申し訳ありませんでした。今後は、このような事が二度とないよう、注意して参ります。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。